

JAあきた白神の取り組み(抜粋)

1. 農業生産の拡大

- ・「白神青果物販売目標20億円販売達成プロジェクトチーム」が各作物の課題を検討し、面積、反収の増加、品質の向上を目指して生産の拡大に努めています。
- ・複合経営を推進し、重点品目等の面積増加分に「JAあきた白神農産物等産地拡大補助金」を交付し、高齢化等で作付面積が減少する中、平成29年度は重点5品目と新規作物を16.9ha増反しました。

(ねぎ6.2ha、みょうが0.6ha、山うど1.2ha、アスパラガス2.6ha、きゃべつ4.5ha、スナップエンドウ0.6ha、新規作物0.5ha、花卉(りんどう)0.5ha)

- ・無料職業紹介所を開所し高齢化や農業者の減少により労働力不足に悩む生産農家に、管内外から農作業を支援できる求職者を紹介することで、主力品目の「白神ねぎ」や「白神きゃべつ」などの面積拡大や生産力の維持拡大を図っています。



↑ 昨年12月に開所した無料職業紹介所

2. 農業者の所得増大

- ・稲作偏重からの脱却による農業所得の向上を図るため、野菜作付面積拡大への種苗費助成を行うとともに市場情報の収集による多様な販売チャネルの構築に取り組んでいます。
- ・米の直接販売に取り組むとともに、買い取り制度の充実による管内シェアの拡大に取り組んでいます。
- ・白神青果物の販路拡大のため、トップセールスの開催や様々なイベントでのPR活動に努め、平成29年度は出荷量5,219.4t、取扱高19億881万円と過去最高の実績となりました。
- ・肥料・農薬超目玉商品8銘柄、肥料の特別価格銘柄14銘柄、超大型規格農薬3銘柄を設定しながら生産コスト削減を目指した取り組みと組合員へより多く足を運ぶ渉外活動に努めています。

3. 地域の活性化

- ・女性部や助け合い組織を中心に管内各地でミニディサービスを実施し、JAとの交流、地域住民との交流を図っています。
- ・地域の子どもたちには「超神ネイガー交通安全教室」をシルバー世代には「交通安全落語とシルバー向け交通安全教室」を開き、交通安全啓蒙活動を展開しています。
- ・健康寿命100歳プロジェクトの一環として、運動面では「ノルディックウォーキング」、食の面からは「料理講習会」を地域住民に対して開いています。
- ・「支店を拠点とした協同活動」では、支店市の開催や地域の夏祭りに参加し、JAの農産物を販売することで、地産地消はもちろん地域とのつながりを深めています。



↑ のしろ北支店での支店市